

外国人向け 情報、早く正確に

NPO法人奮闘中



新型インフルエンザの情報を翻訳するFACILのスタッフ＝神戸市長田区

新型インフル

「今日は滋賀県で感染者が確認されました」「皆さんはマスクになじみがないと思いますが、ぜひ着けて」
20日午後8時、多言語コミ

ユニティー放送局「FMわいわい」の生放送。ラテン系の人々向けに、FACILのスタッフ2人がスペイン語と日本語で当日の動きを伝えた。世界保健機関がメキシコ国内での感染疑いを発表した直後の4月下旬、FACILは同市と県と提携し、相談方法や予防策などの行政情報を翻訳して提供し始めた。県と市は、それをHPなどに随時掲

載している。翻訳する言語は英語や中国語、ラオス語など約10。15人のスタッフが、できる限りその日のうちに翻訳を終える。法人の吉富志津代理事長(52)は「情報が1日でも遅いと、

約10言語 ラジオ・電話・ネット で提供

大きな不安につながる。震災時と同様、正確な情報を早く伝えて安心してもらうことが大切」と強調する。

ラジオ放送では、新聞やテレビで報道された最新情報も翻訳する。外国人にとって自国の情報はインターネットですぐに得られるが、国内の情報は言葉の壁があって難しい。

フルエンザをめぐる外国人への情報提供について、吉富さんは「この15年間で培ったノウハウやネットワークが試されている」ととらえている。

外国語相談窓口 土日祝日もOK

神戸市

神戸市は23日から、市発熱相談センターに開設した外国語の相談窓口(080・6115・9901)の受け付けを土日、祝日午前9時～午後5時も加える。英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語で対応。また、25日から同市中央区の神戸国際コミュニケーションセンター(078・291・8441)でも、平日午前9時～午後5時に英語、中国語で受け付ける。

神戸

HYOGO



創業110年

1899年創業
神戸で生まれ育って
110年

和田興産株式会社

www.wadakohsan.co.jp

神戸総局
神戸市中央区浪花町60
☎ 078(331)4144
FAX 078(331)4149
明石支局 078(912)0346
三田支局 079(562)5361
篠山支局 079(552)7180
阪神支局
西宮市与古道町1-1
☎ 0798(33)5151
FAX 0798(35)2070
購読のお申し込みは
0120-33-0843
(7:00～21:00)
購読・配達のご用は
神戸 (321)1870
(10:00～17:00
＝日・祝除く)
明石 078(918)6808
緑ヶ丘 0794(84)0897
広告のご用は
神戸 (393)3536
折り込み広告は
神戸 (326)7300

からだ。23日からは毎週末、同市が設けている新型インフルエンザの外国人向け相談窓口で英、中、韓など6カ国語の通訳をサポートする。

吉富さんは95年の阪神大震災を機に、仲間と外国人のための電話相談ボランティアをした。ラジオ放送局を開局したりした後、99年にFACILを設立。今回の新型インフルエンザをめぐる外国人への情報提供について、吉富さんは「この15年間で培ったノウハウやネットワークが試されている」ととらえている。